

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（湖東地域）第1回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年8月5日（金） 14時00分～16時00分

場 所：湖東合同庁舎3階消費生活センター研修室

出席者：大野 均 委員（甲良町商工会 会長）

河原田 均 委員（公募委員）

見津 京子 委員（日赤奉仕団多賀支部 委員長）

小林 伊三夫委員（公募委員）

式部 綱祐 委員（彦根警察署 交通課課長）

（代理 彦根警察署 交通課 係長 藤井氏）

關谷 真治 委員（彦根市都市建設部道路河川課 課長）

竹中 仁美 委員（愛荘町商工会 女性部 部長）

田中 智恵子委員（豊郷町商工会 理事）

田邊 好彦 委員（公募委員）

轟 慎一 委員（座長）（滋賀県立大学 准教授）

羽田 順行 委員（愛荘町建設・下水道課 課長）

藤本 一之 委員（多賀町地域整備課 課長）

村岸 勉 委員（甲良町建設水道課 課長）

矢田 全利 委員（彦根観光協会 専務理事）

山田 裕樹 委員（豊郷町地域整備課 課長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 委員紹介

3. 地域ワーキング設置要領の確認、座長選出

4. 地域ワーキング

（1）地域ワーキングの位置づけと進め方について

- ・事務局より地域ワーキングの位置づけと進め方について説明を行った。

（2）資料説明「第1回地域ワーキング」

- ・事務局より第1回地域ワーキングについて説明を行った。

（3）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【歩道や道路空間の創出について】

- ・彦根市の文化プラザと清掃センターがある大きな道で、文化プラザ側と清掃センター側で歩道が全然違う。清掃センター側の歩道は凹凸がひどくて歩くのが大変。
- ・5年間で交通事故は減少傾向にあるものの、死亡事故は依然としてある。事故のない道路整備に期待している。
- ・生活道路ではゾーン 30 の指定ができれば、猛スピードで通行する車を防ぐことができるのではないかと。
- ・非常に歩道整備が遅れている。歩道のないところ、大雪の日などは非常に危険。交通の分離ができるような道路整備が望まれる。
- ・県はビワイチを推しており、道路にブルーラインを引いている。幅員を広げて引くなら良いが、そのままの道路幅で中央線を横にずらして引いている。車は徐行していると思うが、危ない。
- ・彦根市では、コンパクトなまちづくりとして、歩道が整備された道路のネットワーク化が課題。道路が整備されても、その路線がつながっていないため、そこも含めて整備を進めてもらいたい。
- ・豊郷町内の道路が狭い。大型車が安全に対向できない。標識や電柱を道から下げてもらうなど、対向できる道路を期待したい。
- ・自転車通行帯の確保ができていない。
- ・交通弱者の歩車道を整備してもらいたい。また、ビワイチで県内外から多くの人があるから自転车道があればと思う。
- ・豊郷町の道路事情は、センターラインのない道路が多く、歩道もほとんどない。県道ですらトラックが対向できず、ガードレールやカーブミラーもよく当てられる。バイパスが整備されると国道 307 号から一直線になるので期待している。5年前から比べると地域の中に倉庫や小さな工場などが建設され、通学路などを走行する車が増えた。規制してもらいたいという住民からの声もあがっている。

【災害（水害・雪害）について】

- ・災害が起こって停電になってもラウンドアバウトが整備されると安全に通行できる。ラウンドアバウトは、安全安心と速度制限を一括に整備できるのではないかと期待している。
- ・アンダーパスの水はけについて今後考えていかないといけない。
- ・除雪の際の方法として、県道や幹線道路の除雪をしてくれるのは良いが、ガードレールや、ステンレスの槍みたいなものが歩道側に倒れていて危ない。
- ・国道 307 号の多賀大社から敏満寺交差点の縦断勾配がきつく冬季積雪時に危険。雪のスリップ止めの凸凹が危ない。
- ・今年の積雪時に家の前の陸橋が渋滞して救急車が立ち往生していた。命に係わる問題にもなる。
- ・高齢化と過疎化が進んでいる地域で、306 号しか動く手立てがないため、積雪時に 2 日間孤立したことがある。

- ・多賀町は歩道が十分機能しているところが少ない。多賀大社もあり、年末年始の初もうでの客が雪の中、歩道のない路肩を歩いているのは、不便をかけていて申し訳なく感じる。

【拠点間ネットワーク（渋滞対策・物流・観光）について】

- ・ICが開通してもそこにつながる主要道路がない。しっかり整備をしてもらいたい。
- ・県道を整備した後にどう分散してもらうか。町道にどう誘導していくか。最短で目的地に行くための交通網の確保。町としてもネットワーク化をどう考えていくかが協働を図っていく立場から一番考えていく課題だと思っている。
- ・道路が整備され、幅員が十分にとれたので大型車両が集中している。ネットワーク化を考えて、交通の分散をしないといけない。
- ・国道8号、国道306号、湖岸道路が慢性的に渋滞している。特に、国道8号は南北幹線で、重要物流道路や緊急輸送道路に指定されている。東西方向の軸となる高宮交差点など、南北が渋滞するので東西も渋滞する。解消されると良い。
- ・国道8号の渋滞緩和対策。国道8号が渋滞するので、横断する道路も動けないし、道幅の狭い中山道への流入も多い。
- ・実情を見て右折レーンを確保してもらいたい。計画時から実情が変わっていることもある。
- ・交通の分散化は5年前とあまり変わっていない。国道8号の慢性的な渋滞があり、それを横断する県道や町道、合流する車が停滞している。
- ・通勤時間帯の交通量が、国道307号をはじめ県道で増えており、朝晩の渋滞がひどい。渋滞や大雪等、何か事が起こった時にすぐに渋滞になる道は余裕がない。余裕のある道路整備ができれば。8号バイパスとそれを中心とした幹線道路網の整備が必要。
- ・コロナで移動手段が観光バスから自家用車へ転換しており、観光客はカーナビを頼りに来るので生活道路等を抜け道として使用している。今後、ニッチな道路にも渋滞が出てくるのではないかと危惧している。
- ・住民からすると、神郷彦根線の進捗状況が分からない。1日も早い完成をしてもらいたい。

【道路等の維持・管理について】

- ・道路幅が広がると、交通量が増えて大型車の通行も増える。道路が傷むのも早い。
- ・道路整備後、何年か経つと白線や横断歩道、道路標識が消えているところがある。道路を新しく作ることも大事だが、今ある道路の整備が必要だと思う。
- ・愛荘町は児童の数も増えており、小学校を増築しようとしている中で、歩道が整備されていない。歩道が整備されても、経年劣化で歩道のアスファルトやコンクリートにクラックが入り、そこに草が繁茂している。歩道の役割を果たしていない。維持管理をしっかりしていくべきだと思う。せっかく作ってもらった道路なので、整備して、地域住民とも協働して使い勝手の良い道路にしてもらいたい。
- ・老朽化した舗装が目立つ。また、歩道や自転車道があるところも草が繁茂しており、草刈りができていない。
- ・道路が整備されて、交通量が増えて道路損傷のサイクルが早くなったのではないと思う。
- ・歩道橋の老朽化が進んでいる。通学路になっているところで、大型車が通ると揺れたり、

支柱が錆びているところもある。

【道路整備による地域活性について】

- ・道路ネットワークが整備されると、人口減少にも歯止めがきくのではないか。
- ・湖周道路を走っていると道の駅がほとんどない。彦根市内にも道の駅がない。彦根城を世界遺産に登録しようと活動しているので、どこかに大きな道の駅ができると良い。